

日独連携国際シンポジウム「スマートシティとその倫理的・法的・社会的課題」

開催日時 2021年3月23日(火) 16:20-20:20

開催方法 オンラインによる開催

主催 理化学研究所革新知能統合研究センター(AIP)人工知能倫理・社会チーム

共催 大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門、ドイツ連邦建設・都市・空間研究所、ベルリンSRH国際マネジメント大学

参加方法

参加を希望される方は、<yuki.hori.fs[at]riken.jp>([at]は@に変更してください。)宛ての電子メールによりお申し込みください。

電子メールの本文には、次の①～③を記載してください。

- ①氏名及びふりがな
- ②所属機関及び役職
- ③連絡先(電子メールアドレス)

電子メールの件名は、「日独連携国際シンポジウム参加申し込み」としてください。

お申込みいただいた方に対し、後日(3月20日頃)に、接続先URL等詳細を電子メールによりお知らせいたします。

URL https://aip.riken.jp/news/202003_s_suzuki-t_symposium/?lang=ja

内容

16:20-16:30	開会の辞 鈴木晶子(理化学研究所革新知能統合研究センター人工知能倫理・社会チームリーダー、京都大学大学院教育学研究科教授)
16:30-17:00	基調講演 「台頭するスマートシティー社会実装に向けて」 倉田哲郎(前箕面市長、大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門招へい教授)
17:00-17:30	I 講演 “Digital Sovereignty for Local Communities” Eva Schweitzer(ドイツ連邦建設・都市・空間研究所デジタルシティ・リスク抑制・運輸担当課長補佐)
17:30-18:00	II 講演 「ウィズ/ポスト感染症時代において我々はどうのように社会をデザインすべきか?—第4次産業革命期におけるスマートシティ戦略とは」 東博暢(株式会社日本総合研究所プリンシパル、大阪府立大学研究推進機構特認教授・スマートシティ研究センタースーパーバイザー)
18:00-18:15	休憩
18:15-18:45	III 講演 “Ethical and Legal Challenges of Smart Cities in Germany and Japan. A Comparative Empirical Study” Alexander Wulf(ベルリンSRH国際マネジメント大学教授)

18:45-19:15	<p>IV 講演 「スマートシティの倫理的・法的・社会的課題と対策—国内外で既に発生した問題事例をベースにして」</p> <p>三部裕幸（弁護士・ニューヨーク州弁護士、渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 パートナー、大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門招へい教授）</p>
19:15-20:15	<p>全体討論</p> <p>司会</p> <p>鈴木晶子（理化学研究所革新知能統合研究センター人工知能倫理・社会チームリーダー、京都大学大学院教育学研究科教授）</p> <p>討論者</p> <p>倉田哲郎（前箕面市長、大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門招へい教授）</p> <p>Eva Schweitzer（ドイツ連邦建設・都市・空間研究所デジタルシティ・リスク抑制・運輸担当課長補佐）</p> <p>東博暢（株式会社日本総合研究所プリンシパル、大阪府立大学研究推進機構特認教授（兼）スマートシティ研究センタースーパーバイザー）</p> <p>Alexander Wulf（ベルリンSRH国際マネジメント大学教授）</p> <p>三部裕幸（弁護士・ニューヨーク州弁護士、渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 パートナー、大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門招へい教授）</p>
20:15-20:20	<p>閉会の辞</p> <p>福田雅樹（理化学研究所革新知能統合研究センター客員主管研究員、大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門長・教授（兼）大学院法学研究科教授、東京大学大学院情報学環客員教授）</p>